

プログラム名	冬でも田んぼ（休耕田）は生きている						
対象年齢	年長（5～6歳）						
ねらい	メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の冬の過ごし方に気づこう</li> <li>田んぼのあぜ道に生えている植物の形、色、種類など</li> <li>田んぼの土の感触（やわらかさ、粘り気、温度など）</li> <li>冬の自然現象（霜柱など）</li> <li>土の中で春を待っている動植物の様子</li> </ul>					
	発見・体感できること						
参加者のめやす	幼児 3～20人			支援者 3人			
実施時間	30分						
フィールド							
	森・社寺林・公園	山・里山	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			配慮・アドバイス アレンジ			
準備				<p>周囲の安全に留意できるよう、事前に危険な場所などをチェックしておきます。 ...稲の切り株にも目を向けましょう。</p> <p>長靴をはいた方がよいでしょう。</p> <p>フィールドへ移動する道中にドングリの木などがあれば、木の様子をふり返り、秋との違いについて考えてみるができます。</p>			
5分	走ったり溝を跳び越えたりして田んぼ(休耕田)やあぜ道を探検する			<p>溝を跳んでみます。 (雨天時は雨でできる水面の波紋を観察します。)</p>			
5分	ぬかるみの中に足を入れてみて、土の感触や温度の違いを手や足で確かめてみる			<p>足の裏から伝わる道の固さを感じとります。 (ふわふわ、じゅくじゅくなど)</p> <p>ぬかるみに入り、感触や音を感じとります。</p>			

